

水と私

アメリカと苦小牧の水道水

英会話講師 クラーク・ブライソン

早苗 夫妻

アメリカ合衆国イリノイ州シカゴ市出身で、日本には昨年4月英会話教室の講師として来日しました。

北海道を希望したのは、大自然の恵み豊かところに惹かれたそうで、苦小牧の街や人の印象は、「山々や湖沼に囲まれた、大変きれいな街で、とても落ち着きのある優しい人達」と、来日1年半とは思えない流暢な日本語で話してくれました。

現在は、新婚で妻の早苗さんと二人で暮らしていますが、12月には第一子を出産予定で、彼女も「彼はとても優しく、アットホームな家庭で本当に幸せ」と話してくれました。

来日当初から、苦小牧の水道水は平気だったそうで、「アメリカの水道水も美味しかったが、苦小牧の水道水も負けないくらい美味しく飲んでいる」と話してくれました。

広いアメリカでは、各州で水道水の事情が違っていているようで、「出身地のイリノイ州では、歯を白く丈夫にし、虫歯の予防に効果があるとされるフッ素が添加された水道水が広く供給されていて、歯が強く虫歯もない」ときれいな歯並びの笑顔で話してくれました。



※アメリカの水道水は、水質やフッ素添加の有無など各州により、大きな違いがあります。ミネラルウォーターも、4リットルで100円程度と価格も手頃のため気軽に利用されているようです。

※苦小牧の水道水には、フッ素は添加されていません。厚生労働省の見解として、「水道水の目的は、人の健康を害しない水の供給であり、不特定多数の人に多目的に使用されるという性格をもっていることから、浄水処理のための薬品を除いては基本的に添加すべきでない」となっています。

クイズに答えて
おいしい水記念
グラスをもらおう

問題

災害に備えて各自が飲料水を確保することが大切ですが、一日に一人が必要な飲料水の目安はどれくらいですか。

- A 1リットル
- B 3リットル
- C 5リットル

応募方法

ハガキに答え(A〜C)と、住所、氏名、電話番号を記入のうえ、左記までお送りください。

〒05318722

旭町4丁目5番6号

水道部総務課

「水だより」クイズ係

締切

12月15日(木)当日消印有効

賞品

正解者の中から抽選でおいしい水記念グラスを20名の方にプレゼントいたします。

なお、当選者には水道部から20日頃にご連絡いたします。